

TAIKI SHAKYO

た い き



令和6年6月 No.141

# 社協だより



ようこそ！ふれあい♥カフェへ！



「元気で長生き」に欠かせない、交流と参加の場をつくることから始まった、ふれあいサポーターによるふれあい♥カフェ。昼食はしばらくの間お弁当の持ち帰りとしていましたが、4月からは会場での会食を再開しました。参加者は「自宅で友人と一緒に弁当を食べていたけど、ここでみんなで食べた方がおいしいね♪」と温かい料理に舌鼓を打っていました。会食後は参加者の皆さんから拍手が沸き起こり、サポーターに労いと感謝の気持ちが伝えられました。カフェでは音楽体操やサボ考案の趣向を凝らしたゲームも楽しく行っています。開催はホームページやチラシの他、防災無線でもご案内しています。お聞き逃しなく！

## もくじ

❖ 表紙（ふれあい♥カフェ）	P 1
❖ 令和6年度事業計画	P 2
❖ 令和6年度予算	P 3
❖ 地域福祉懇談会	P 4
❖ 各福祉団体からのお知らせ	P 5
❖ お知らせ・共同募金表彰等	P 6

【発 行】社会福祉法人 大樹町社会福祉協議会  
 【事務局】大樹町栄通 29 番地 6 大樹町福祉センター内  
 【TEL】01558-6-4130  
 【FAX】01558-6-4120  
 【MAIL】taiki-shakyo@flute.ocn.ne.jp  
 【H P】http://www.shakyo.or.jp/hp/161/

この社協だよりは、赤い羽根共同募金の支援を受け発行しています。



# 令和6年度 事業計画



## 1 法人運営事業

- 各種会議の開催
- 各種大会・研修会等への参加

## 2 福祉振興事業

- 会員等慶弔費支給事業の実施
- 法外援護資金、生活福祉資金の貸付
- 愛情銀行事業
- 備品貸出事業
- 高齢者交流事業の実施
- 世代間交流事業の実施
- 老人クラブ連合会助成、事務局
- 身体障害者福祉協会助成、事務局
- 手をつなぐ育成会助成、事務局
- 地域ふれあいサロン事業の推進
- 地域福祉活動支援事業の推進
- 日常生活自立支援事業の推進
- 不要カレンダー等の無料配付
- 歳末たすけあい事業

## 3 心配ごと相談所の開設

- 弁護士を招いて年2回開設  
令和6年9月12日(木)  
令和7年2月13日(木)に開設予定



介護予防教室「ふまねっとクラブ」(R5.7.19)

大樹町社会福祉協議会では、今年度このような事業を展開して地域の皆様のお手伝いをしていきます。

## 4 ボランティア・地域活動推進事業

- ボランティア団体の育成助成
- 児童・生徒ボランティア活動助成
- ボランティア連絡協議会事務局
- 民生児童委員協議会助成
- 防犯パトロールの実施
- 小地域ネットワーク活動推進事業
- たいき社協ふれあい交流会の開催
- ボランティアセンターの運営
- ボランティア活動の相談や斡旋
- 地域支え合い活動推進事業  
『お互いさまあーず』の実施
- 災害ボランティアセンターの体制整備
- フードドライブ事業の実施

## 5 調査・広報活動の推進

- 地域福祉懇談会の開催
- ホームページの整備、充実
- 社協だよりの発行

## 6 町の受託事業の実施

- 除雪サービス
- 福祉車両貸出
- 介護用品支給事業
- 町指定ごみ袋元売りさばき業務
- コミュニティバス回数券販売事務
- 介護予防・日常生活支援総合事業業務
- 福祉センター管理業務
- 介護職員初任者研修

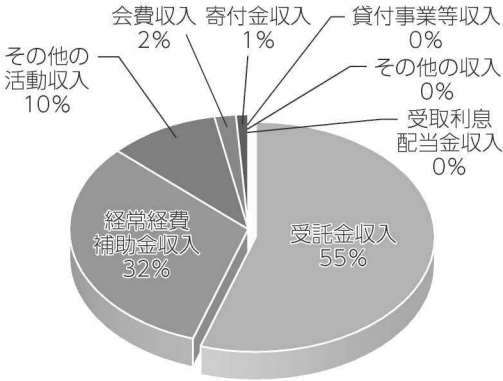


令和6年度 大樹町社協資金収支予算書

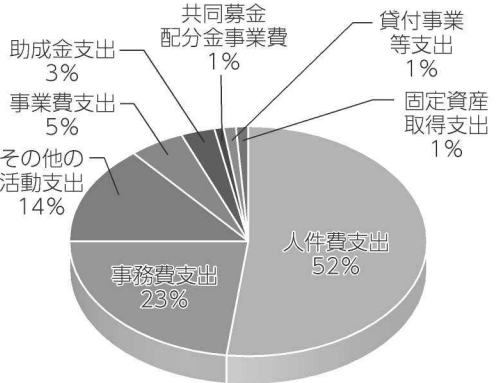
令和6年3月6日、大樹町福祉センターにおいて第5回理事会が、3月28日には第2回評議員会が開催され、両会議において令和6年度の事業計画案・収支予算案についての審議が行われました。

(単位：円)

勘定科目			合計
事業活動による収支	収入	会費収入	1,050,000
		寄付金収入	500,000
		経常経費補助金収入	20,463,000
		受託金収入	34,769,000
		貸付事業等収入	150,000
		受取利息配当金収入	5,000
		その他の収入	6,000
		事業活動収入計（1）	56,943,000
	支出	人件費支出	34,123,000
		事業費支出	3,458,000
		事務費支出	15,194,000
		貸付事業等支出	600,000
		共同募金配分金事業費 	860,000
		助成金支出	1,910,000
		事業活動支出計（2）	56,145,000
経常活動資金収支差額（3）＝（1）－（2）		798,000	
施設整備等による収支	収入	施設整備等収入計（4）	0
	支出	固定資産取得支出	350,000
		施設整備等支出計（5）	350,000
	施設整備等収支差額（6）＝（4）－（5）		△ 350,000
その他の活動による収支	収入	サービス区分間繰入金	6,663,000
		財務収入計（7）	6,663,000
	支出	積立資産支出	2,108,000
		サービス区分間繰入金支出	6,663,000
		財務支出計（8）	8,771,000
	財務活動資金収支差額（9）＝（7）－（8）		△ 2,108,000
予備費支出（10）		13,363,000	
当期資金収支差額合計（11）＝（3）＋（6）＋（9）－（10）		△ 15,023,000	
前期末支払資金残高（12）		15,023,000	
当期末支払資金残高（11）＋（12）		0	



収入



支出



『じぶんのまちをよくするしくみ』  
共同募金を活用した事業について

昨年10月～12月に皆様からご協力いただいた募金は、福祉団体活動、高齢者交流事業、小地域ネットワーク（町内会）活動、子育て・世代交流、小中高校ボランティア活動支援等での活用を予定しており、今後共同募金委員会理事会・評議員会で審議し、決定されます。

このほか、個人や団体の福祉活動を応援する「地域福祉活動助成事業」ボランティア活動を支援する「ボランティア団体活動助成」など多くの方に有意義に活用していただきたいと思います。

○地域福祉活動助成事業

① 地域福祉活動応援助成金

地域福祉の向上を目的とし、新たに実施する先駆的・モデル的な活動を、年間通して行う団体に対して助成します。

② サロン活動支援助成金

高齢者や障害者、子育て中の親子等を対象としたサロン活動を行う団体や個人に対して助成します。

○ボランティア団体活動助成事業

地域福祉の推進を目的とし、自主的・継続的に活動するボランティア団体に対して助成します。

上記助成事業の詳細につきましては、社会福祉協議会にお問い合わせください。

# 3年ぶりに地域福祉懇談会を開催



今回のテーマは

**災害に強い地域をつくるために**

～普段の暮らしの中で私たちにできることって何だろう？～



## ▼不安に感じていること▼

- ・個人情報だと言われ、いざ災害が起きても支援が必要な人の情報がない。
- ・防災訓練と言っても何をしたら良いのか分からない。
- ・いざ災害が起きた時、だれか自分のことを助けに来てくれる人がいるのか心配。
- ・避難所に避難と言われた時、何を持っていたら良いのか分からない。平常時から何を準備しておけば良いのか分からない。
- ・各避難所に非常食や毛布等の十分な備蓄はあるのか、いざ避難して何もなかったら困る。
- ・日頃から訓練しておかないといざと言う時に動けないと思うが町内会で何をやっても人が集まらない。

## ▼普段から取り組んでいること▼

- ・隣近所声を掛け合っている。1人暮らしの人は特に気にかけている。
- ・行政区や老人クラブの集まりを定期的に開催している。今後回数を増やしたいと思っている。いざという時の為に日頃から誰かとつながっていることが大切だと思う。
- ・地域で年に1回自主防災訓練を行っている。避難訓練時、子供やその保護者にも参加してもらうようになった。
- ・地域の避難所に最低限必要な物を置いてもらっている。そうすることで津波警報が出た時は薬だけ持って逃げることができる。年に2回地域の皆と荷物の見直しをしながら交流もしている。

## ▼今後取り組みたいこと▼

- ・自主防災組織を作って勉強して、訓練して一生懸命やらないといけない。
- ・避難が必要になったら「誰か来るだろう」「誰か行くだろう」程度にしか考えていなかった。誰が誰を助けに行くのか、避難マップ等が必要だと感じた。
- ・若い世代にも入ってもらって行政区単位で集まって話し合うことが必要だと思う。
- ・避難グッズや災害リュックを皆で集まって作りたい。
- ・なんでも行政任せではダメ。受け身ではダメ。自分で「助けて欲しい」と声を上げることが大切。

沢山の貴重なご意見ありがとうございました。

今後も皆さんと一緒に災害や地域活動について考え、取り組んで行きたいと思います。



中大樹行政区会館



尾田地域コミセン



歴舟地域コミセン



# 各福祉団体からのお知らせです

社会福祉協議会では、以下の4つの福祉団体の事務局を担当しています。

4月には各団体で総会が開催され、令和6年度の事業や予算について話し合われました。団体では一緒に活動してくださるメンバーも募集していますので、関心をお持ちの方はぜひ事務局までご連絡ください。

## 手をつなぐ育成会

大樹町手をつなぐ育成会は知的等の障がいがある方やその家族、支援者などで組織している会で、現在の会員数は9名と少ないですが様々な活動をしています。

秋は十勝管内の施設見学や冬には手芸教室の開催を予定しておりますので、興味がある方は社協までご連絡ください。また会員も随時募集しております！



## 身体障害者福祉協会

身体障害者福祉協会大樹分会では、身体障害者手帳をお持ちの方と会を一緒になって作っていただける方々が会員となって運営している団体で、現在会員は45名です。6月には室内ゲーム交流会として輪投げやボッチャ、ビンゴ大会を開催いたします。また、7月には芽室町の明治なるほどファクトリーの見学や愛菜屋で買い物ツアーを計画しています。他にも様々な行事を予定しております。



## 老人クラブ連合会

老人クラブはお住まいの地域を基盤におおむね60歳以上の方が自主的に活動している団体です。仲間づくりを通して生きがいや健康づくりを行い、知識や経験を生かして地域を豊かにする活動も行っています。大樹町は15団体（1団体休止中）があり、今年の会員は760名です。

特別養護老人ホームの花壇整備や国道沿いで交通安全の街頭啓発などを実施しております。今年は1泊2日の研修旅行も予定しております。



## ボランティア連絡協議会

大樹町ボランティア連絡協議会（ボ連協）には、12団体151名、33名の個人ボランティアが登録し、各々得意なことを活かしながらボランティア活動をしています。昨年から再開した『ボランティアの集い&レクリエーション研修会』は、今年は11月16日（土曜日）に開催する予定です。非会員の方も参加できますのでお楽しみに♪また、ボランティア活動に興味がある方、聞きたいことなどあればボランティアセンター（社協内）までご連絡下さい。



# あたたかいご寄付をありがとうございます

(令和6年2月6日～令和6年4月19日)

緑 町	佐藤くみ子 様	夫 知 治 殿の逝去に際して	100,000円
麻 友	牧田 治子 様	夫 勝 殿の逝去に際して	100,000円
新大樹	嶋谷 博志 様	姉 眞喜子 殿の逝去に際して	100,000円
上大樹	加藤 昭一 様	老人クラブ連合会芸能発表会録画DVD	1 枚

あ り が と う



## 大樹町共同募金委員会からのお知らせ

令和5年度共同募金運動功労者として

寿町 田中 修さんが表彰されました。



以前、社協だよりでもお知らせしましたが、田中修(なおる)さんは、奥様の千鶴子さんが作った折り紙と募金箱をコスモールたいきに設置し、集まった募金を大樹町共同募金委員会に寄付する活動を約9年間続けてくださいました。そこで今回、北海道共同募金会に功労者として推薦させていただきました。

長年のたすけあい精神への深いご理解と活動に感謝申し上げます。ありがとうございました。

初心者大歓迎

## 健康マージャン教室 初心者大募集！



第2・4火曜日、13時15分から15時半まで福祉センターで健康マージャン教室を開催しています。

麻雀初心者の方にはサポーターさんが親切丁寧に教えてくれます。

「やってみたいけれど、できるかな」と不安な方、まずは覗きに來てください！お待ちしております。



## 食品衛生講習会 を開催します

日 時：7月8日(月) 13:30～15:00

場 所：大樹町福祉センター

対 象：地域や老人クラブサロン等で食事の提供をしている方、またはそのような活動に関心をお持ちの方なら団体、個人は問いません！

講 師：広尾地域保健支所 梅澤 めぐみ 様

参加希望の方は ☎6-4130までご連絡ください。